

# 令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書(小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 南越前町立南条小学校

児童が主体的に運動に楽しめる環境を作っていく。  
一人一人が目標をもって運動できるようにしていく。

## <本校の体力向上の取組みについて>

- 昨年度50m走は、全学年男女で県平均記録を下回った。休み時間等には鬼ごっこをして遊ぶ児童も多いが、体を動かすことが苦手な児童もいる。そのため、体育の授業の導入で尻尾取りやエリアを決めた鬼ごっこなどに取り組んでいく。短い時間に、決められた範囲を走ることで、本校として課題となっている瞬発力を育てていく。
- 授業はじめの準備運動にストレッチを取り入れ、長期的に柔軟性を養っていく。低学年の段階から実施することで、筋肉の弾力性を育み、運動神経を発達させていく。
- 業間運動を、火曜日と木曜日の週2日実施する。運動委員会が中心となって準備、運営をしていく。冬季の縄跳びは、運動委員会の児童が手本を見せたり、低学年と一緒に跳んだりする機会を設け、全学年が意欲的に縄跳びに挑戦できるようにしていく。

1・2学期・・・5分間走及び縄跳び運動

冬季・・・縄跳び運動(持久跳び、縄跳び大会の種目跳び)

## <児童の運動習慣の育成について>

- 「はぴりゅうスポーツ広場」を活用し、児童が行った運動を記録していく。また、期間を決めて中ホール(空きスペース)で「はぴりゅうスポーツ広場」の活動ができる環境を整え、児童が意欲的に運動できる環境を整えていく。
- 2学期に行われるマラソン大会前には、期間限定で記録するマラソンカードを配布して意欲を高めていく。マラソン大会後には、上位記録の児童と同様に、多くの周数を走って練習した児童も紹介することを伝え、目標をもって取り組めるようにしていく。
- 現在、各学級にサッカーボールとドッジボールを配布している。外器具室には野球グローブやジャベリックボールなど運動の道具があるため、運動委員会で使用の整備をし、多くの児童が色々な運動に取り組める環境を作っていく。

## <その他>

- 学校だよりや学年だよりなどで、体力テストの状況や児童が一生懸命頑張っている様子を伝えていく。
- 「はぴりゅうスポーツ広場」を積極的に活用するために、情報担当教諭を含めた全教職員と学年に応じたタブレットの使い方について共通認識をもつ機会を設ける。

# 令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 南越前町立湯尾小学校

## 楽しく運動に親しみ、基礎体力向上に努める児童の育成

### <本校の体力向上の取組みについて>

#### ○基礎体力の向上

体力テストの結果において、握力や立ち幅跳びの平均得点が6を下回っている学年があるという観点から、以下の取組みを行う。すべての競技において、平均得点7以上を目指す。

- ・握力の強化のために、準備運動にグーパー体操を行う習慣をつける。
- ・陸上や器械運動などの準備運動では、動き作りを取り入れ、体の柔軟性や瞬発力を育てる。
- ・業間体育を年間通して実施する。

（マラソンや大なわとび週1回実施する。）

#### ○自ら体力向上に努める児童の育成（主体的・対話的な学びになるように支援する。）

- ・個人の目標設定をさせ、自分の課題を把握させる。その課題を克服するための練習方法などを提案し、選択させる。友だち同士でお互いにアドバイスをするよう指導する。
- ・また、タブレット端末を活用し、児童自身の姿を撮影したり、お手本となる動画を見せたりすることで、児童自身が課題意識を持つことができるよう支援する。
- ・「はぴりゅうスポーツ広場」を活用し、できる技を増やしたり、磨いたりすることで意欲的に運動に取り組むよう支援する。
- ・教員には、体育主任による現職教育を実施し、体育に関する知識・技能を高める。

### <児童の運動習慣の育成について>

○学校全体で外遊びを奨励する。晴れの日には運動場で遊ぶ。（冬季は体育館で）

○「チャレンジタイム（業間活動）」には、全校でマラソンや大なわとび等に週1回取り組む。マラソンカードや縄跳びカードを作成し、意欲向上を促す。

○体育大会やマラソン大会、なわとび大会に向けて、運動への意欲や関心を高めるとともに、めあてを持たせ、達成感や充実感を味わわせる。

### <その他>

○夏季休業前・体育大会時にラジオ体操指導を行う。夏休み中は、地域のラジオ体操に参加するように奨励する。

#### ○保健の実施

- ・養護教諭と連携して授業を実施する。
- ・歯科医による歯の指導、救急救命士による救急法の指導を計画する。

○「ノーメディア週間」を活用し1週間自分のメディアとの生活を表に書き込み、自分の生活を振り返らせる。保護者からの振り返りも行い、家庭との連携を図る。

# 令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書(小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学校名 南越前町立今庄小学校

一人一人が目標をもって運動に取り組み、体力づくりへの意欲を高める。

## <本校の体力向上の取組みについて>

体カテストの結果から「50m走」の記録が全国平均より同じ数値もしくは少し低い数値であったことから、走力の向上に努めるために、以下の取組みを重点的に行うこととする。

### ① 業間活動における取組み

・業間体育は、おおよそ週3日のペースで行い、内容は「時間走」、「エンドレスリレー」の2種類を順番に実施する。また、雨天の日は、縦割り班ごとの連続8の字跳びなどの長縄を実施する。

### ② 体育大会における取組み(10月)

・体育大会の種目に短距離走やリレーを取り入れ、授業で学習したことを、当日披露できるようにする。また、各色がチーム一丸となって全力で競技を行えるように目標を持って活動できるように支援する。

### ③ マラソン大会における取組み(11月)

・週3日の業間体育を、マラソン大会に向けてすべて時間走(10分間)にシフトする。また、大会までに試走を2～3回実施し、業間体育の時間走と併せてマラソンカードに記録していく。

## <児童の運動習慣の育成について>

① 1単位時間ごとの「めあて(何を学ぶか)」をはっきりさせ、それに向けて各児童が目標をもって取り組んだり、自己評価したりできるような授業を目指す。また、学習内容によっては学習カードを利用し、学習過程を振り返り、達成感や満足感を感じることができるようにする。

② 教員がより効果的な指導ができるように、NHK FOR SCHOOLなどのデジタル教材などを授業で活用し、技のポイントや学習の仕方、保健に関する内容などを視覚的に理解させる。

### ③ なわとび発表会における取組み(12～2月)

・縄跳びは体育の授業でも実施するが、12月からの業間体育でも実施する。縄跳びカードを併せて利用して取り組んでいく。

### ④ 地域の特徴を生かして、スキー教室や雪遊び等を授業に取り入れる。

## <その他>

① 体育大会で羽根曾踊り(県無形民俗文化財)の活動をする際、地域の羽根曾踊り保存会の方に指導を依頼する。また、マラソン大会やスキー教室の実施にあたり、PTAや地域の方々に協力を依頼する。

### ② 健康における取組み(5・9・1月)

・各学期に1回、生活を見直す期間「ここからチェック」を設ける。内容は「就寝時間」などの生活習慣と「心の調子」を顔文字の中から選択することで心身の状態をチェックする。児童が自身の生活を振り返ることができるようにする。

# 令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

## ～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 南越前町立河野小学校

### 健やかな体と豊かな心 ～たくましい子～ 運動が好きになる学校体育の推進

#### <本校の体力向上の取組みについて>

- ① 大縄大会を企画し、縦割り班で教え合ったり、練習したりしながら、仲間と運動する楽しさや記録の向上を目指して頑張る楽しさを感じられるようにする。
- ② 令和6年度体力テストでは、50m走において、どの学年でも全国平均を下回る結果となった。業間体育において、以前から続けている週1回程度マラソンやなわとびに加え、リレーを行う。体力を向上させることで、運動に対する自信を付けたり、健康な体を作ったりすることにつながっていく。  
また、他人と競ったり、記録の向上ばかりに目を向けたりするのではなく、気持ち良く走ったり、自分の能力に応じて取り組んだりできるようにする。今年度の学校評価アンケートにおいて「体育、業間活動、昼休みなどに体を動かすことは好きですか。」という項目で90%以上の児童が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答することを目指す。  
また、業間マラソンや大縄跳びでは、通年ではぴりゅうスポーツ広場を活用し、児童に使用を定着させることで、継続的、且つ自発的な運動への取り組みを促したい。

#### <児童の運動習慣の育成について>

- ① 複数の学年で合同体育を実施し、仲間と関わり合う場面(チーム戦等)を保障することで、仲間と一緒に運動をする楽しさや競い合う楽しさを感じられるようにする。
- ② 各運動領域において、スモールステップによる授業展開を意識することで、運動に対する抵抗や苦手意識を軽くするとともに、児童にやればできるという有能感を経験させる。
- ③ 少人数学習であることを生かし、充実した個別指導を行っていく。各運動領域における運動技能の習得を保障することで、運動に対する自信を付けさせる。
- ④ はぴりゅうスポーツ広場を活用しながら学年に応じた運動に取り組み、楽しみながら進んで運動する習慣がつくことを目指す。

#### <その他>

- ① 長期休業後には、児童の生活習慣をチェックするカードで1週間程度、生活習慣を見直す期間を設け、児童の実態を把握するとともに、家庭との連携を図りながら児童のより良い生活習慣の形成を図る。